

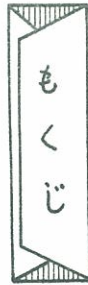
図書館 だより

第1巻6号(通巻72号)

昭和55年3月10日(1980.3.10)

卒業生特集

- もの1. 私のみた図書館 2
- もの2. 卒業生アンケート 3
- もの3. 卒業生への15冊 3
- 古典カレンダー 1
- エッセイ
- かみぞんの読書 竹田 篤司... 4
- 活字と盲信 坂上 孝幸... 8
- 新着案内
- 教養関係 4
- 経済学関係 6
- 法律学関係 7
- 工学関係 8
- 洋書案内 9



- 語集, サロン -4- 5
- 木津先生の仏語アラカルト
- 橋爪先生の独語散歩
- レファレンスコーナー 10
- 新着辞典案内
- 質問に答えて
- 本学紀要案内 11
- 新規寄贈雑誌
- 雑誌特集
- 利用案内 12
- 登録率・貸出冊数共にふえる
- 告知板 12
- 卒業してからも図書館をお忘れなく
- 編集後記

<p>3月 やよい</p>	<p>成功とは[A] 仕事[X]と遊び[Y]と沈黙[Z] の和に等しい。すなわち A = X + Y + Z アリユキガ一 「解答のアインシュタイン」(東京図書)</p>	<p>アインシュタイン A 1879 - 1955 3月14日 生誕 ドイツ生れの 物理学者</p>	<p>ベルン特許局の勤務を終えると彼は仲間と一緒にモーツァルトを弾いたり、相対論のアイデアをねりあげた。「音」と「数」はあのピュタゴラスの魂の浄化に通じた。青春のアインシュタインを形づくった聖の弁証法；聖と俗の止揚 Aufheben アウフヘーベンこそ明日の人類の目標とも言える。</p>	<p>4 月 う づ き</p>
<p>13日 (木)</p>	<p>和辻哲郎 (1889-1960) 「倫理学」「風土」</p>	<p>古典 カレンダー '80 3-4 月生誕 人と業績</p>	<p>ゾラ Zola, Emile (1840-1902) フランスの自然主義作家 生誕140年 「ナナ」「ジェルミナル」</p>	<p>2 日(水)</p>
<p>20日 (木)</p>	<p>イブセン Ibsen, Henrik (1828-1909) ノルウェーの劇作家 人形の家</p>	<p>グロティウス Grotius, Hugo (1583-1645) オランダの法学者 「戦争と平和の法」</p>	<p>10 日(木)</p>	
<p>21日 (金)</p>	<p>バッハ Bach, J.S. (1685-1750) 「バハ小川」は音楽の大河生誕230年 「序曲上の Aria」「ブランデルク 協奏曲」</p>	<p>リカード Ricardo, David (1772-1823) イギリスの経済学者 「経済学及び課税の原理」</p>	<p>19 日(土)</p>	
<p>30日 (日)</p>	<p>ゴリキー Gorkii, M.G. (1868-1936) ロシアリアリズム文学の作家 母 「どん底」 Ha zhe</p>	<p>カント Kant, Immanuel (1724-1804) ドイツ批判哲学の創始者 学位論文は「論」 De igne</p>	<p>22 日(火)</p>	
<p>31日 (月)</p>	<p>デカルト Descartes, R. (1596-1650) 「行動する人として哲学し 哲学する人として行動する」フランスの哲学者没後300年</p>	<p>シェイクスピア Shakespeare, William (1564-1616) 「全世界が一つの舞台」(お気に召すまま)</p>	<p>26 日(土)</p>	



— 雑感 —

横山一郎

最近の青少年は、テレビや漫画の悪影響を受けて、読書量が減ったと嘆く声を聞く事が多いが、僕自身は媒介手段によって、内容の良し悪しが決められるものではないと思う。テレビ、漫画誌の場合、放映時間、誌面に穴を開けるわけにはいかないという制約が粗製乱造を促している事は否めないが、同様の事は、週刊誌類についても言える筈だ。また、テレビや漫画は絵や音が出るので、想像力を刺激する事が、書籍類より少なく、知能、情緒の育成を阻害するというロジックもよく耳にする。しかし、僕達の想像力乃至インスピレーションを促す入力も文字だけに限られない。美しい景色、音色、香臭、対話、etc がさまざまな連想を喚起する。

一つの証拠として、建築家フランク・ロイド・ライトが幼児の頃、積木によって、芸術的養育を培っていた事をあげたい。三角、四角の積木、赤色、黄色の折紙、竹ひご細工等の色、形、大きさを見、手で触れ、指でなぞり、彼は稜と角とヴオリュームの何たるかを知ったらしい。「そしてこのほかの方法ではまず子供の理解力では遙かに及ばない。自然が本来的に持っている原因と結果の条理をわきまさせさせることはできないだろう。」(引用『フランク・ロイド・ライト/建築の理念』A.D.A.EDITA Tokyo)と彼は語っている。要は伝達内容が適確な媒介手段と共に在るかそして、その内容が我々のインスピレーションに働きかけるほどのねうちを持っているかどうか、問題なのである。

字で読むより、目で見ればそれこそ一目瞭然にわかるというものが多い。特に、工学系統の具象性の高い学問分野で、これが言えるだろう。例えば土質力学で扱う圧密や水理学の背水、構造力学では固定モーメント法などの解き方をわかりやすい映画にして図書館で貸出せば、泣いて喜ぶ学生が出るのではないだろうか。マイクロフィルムを借りて、映写機で見るという方式は、アメリカンセンターでも行なわれている。「読書」の価値は否定できないが、「文字」に固執することにも限界があるだろう。(本学工学部4年)

— 4年間をふりかえて —

工藤身延

図書館は資力の乏しい学生にとって学習を進めるのに不可欠のものです。私も利用した一人ですが、その経験から一言感想を述べてみたいと思います。まず蔵書についてですがこれは卒直に言ってまだ不十分だという気がしました。もっともこれは予算の都合もあり、早急に解決できるものではないでしょうが、例えば、貸出しの頻度の高い本を複数そろえるといった工夫が欲しい感じがします。各学部の専門図書はもちろんですが、特に文学など教養に関する書籍はまだまだ充実させる必要があります。今のところ図書館は試験期間以外はあまり利用されていないようですが、一般教養の図書が充実すれば状況は変わるのではとも思えます。それと、図書館内の通路について一言申し上げたい。というのは昨年、一つの通路を昔棚で塞いでしまい、その結果、館内の通行が著しく不便になっているということです。管理上の都合とはいえ、図書館が開鎖的な構造になっているのは感心しません。ぜひ、ご一考願いたいと思います。

一方、もっと利用されているものとしての図書館職員の知識の活用という事があげられます。いわゆる読書相談ということですが図書館職員の方々はその方面の教育と経験を積んでおられるので非常に頼りになるものなのです。いつか友人と「明治は遠くなりにはけり」というのは誰の言葉かということに論議となりましたが、図書館で質問したところ、たどころに資料を教えられて解ったことがあります。このように彼(女)たちはどの資料をみれば何が調べられるか熟知しているので、単純な疑問から専門に関することまで何でも尋ねてみることをみなさんにお勧めします。また図書館の方でも、「読書相談」の看板を掲げるなど積極的にはたらきかけていいのではないかと思います。

大学生は専門学科の他にも広く教養を深める学習をすべきものと考えます。そうした意味からも、後輩諸君が大いに図書館を活用される事を望みます。(本学法学部4年)



あなたの眼

佐々木 秀樹

日本のメガネ着用者は、4000万人とも5000万人ともいわれている。しかしその数は、社会の高度化・複雑化・生活環境の影響を背景に、増加の一途をたどっている。まさにわが国は、メガネ王国といえよう。

しかし、日本人はメガネについて無頓着すぎる民族ではないだろうか。メガネ価格の低さのみをうたった、視力検査やメガネの調整がずさんで、バナナのたたき割りのような安直な眼鏡店の乱立、乱売を許しているのを見れば明らかであろう。眼が悪くなったら眼鏡店へ行ってメガネを作ればよいとか、メガネは単なる顔のアクセサリーぐらいに簡単に考えるのは、大きな間違いである。メガネはあくまで、近視・遠視・乱視などの眼の異常を矯正し、それに眼を保護する道具であって、眼の悪い人にとってなければ満足な社会生活

を営めないという意味で、医療器具であるといえる。不正確な視力検査のもとで作られた具合の悪いメガネをかけていては健康によくないのである。

ところで、アメリカでは、眼鏡専門の医科大学を卒業した人が、視力検査、メガネの製作、調整に携わっている。メガネ作りは医療である、という考えなのである。しかし、わが国では、メガネについての国家試験制度はなく、メガネ作りは整視され、大切な眼は危機にひんしているのが現状であるのだ。また、眼やメガネに関する出版物が極少であるため、そういう知識が広く普及しないので、メガネ作りに対する社会的関心は高まらないのである。これでいいのであろうか。

あなたの眼は、あなた自身のものなのだ
(本学経済学部4年)

卒業生特集 その2

卒業生の図書館像 —アンケートから—

今年度卒業する4年目登録者の中から無作為に7人を選び、質問に答えていただいた結果6人の方から回答がありました。以下要約して掲載します。

質問	回答内要
① 利用度	1人平均月5回来館
② 利用冊数	4年間に1人平均図書19冊 雑誌2種を利用
③ 図書館に 1. 認知度 2. 関心のある 記事	6人のうち5人が「図書館 だより」を読んでいる。 語彙サロン 3人 「エッセイ」 2人 「新刊案内」 1人
④ 印象に残った本	「注釈会社法」1~8 「貨幣数量説」フリードマン著 「ニーチェ」ゲス著(樺山訳)
⑤ 図書館への 希望	① 選書希望 (専門書・大衆小説・新書) ② 試験期中の騒音対策 ③ 開館時間の延長(午後8時 から9時への延長)

卒業生への15冊 卒業生特集 その3

- * 自己啓発ノート 大坪 植 日本経営出版会 ¥950
- * ライフワークの見つけ方 井上喜雄 主婦と生活社 ¥650
- * ライフスタイルの作り方 川勝久 講談社 ¥880
- * サラリーマンの時間表 石川 弘毅 主婦と生活社 ¥650
- * サラリーマンの心の病 小林 司 日本労働協会 ¥900
- *****
- * ビジネス電話入門 日本経営者団体連盟編
同編所 ¥600
- * ビジネスマン上手な話し方・聞き方 坂上 肇
海潮書房 ¥780
- * 聞き方入門 鈴木 健二 日本能率協会 ¥650
- * 会議学入門・現代自治選書-海保 勇三
教育出版社 ¥800
- * テレコダーの使い方百科 吉田 邦雄 日本放送
協会 ¥680
- * 組織蘇生学 小林 茂 ごま書房 ¥600
- * ビジネス文書起草・作成の手引 菜谷 晃二郎
日本法令様式販売所 ¥800
- * ビジネスレポートの書き方 徳永 一郎 経済書房
¥780
- * ファイリングの要領 三沢 仁 実業之日本社 ¥880
- * ファイリングの実務 小沢 暢夫 日本経営出版会
¥1000

かみさんと読書



竹田 憲司

これはかみさんの読書の話であって、かみさんの読書の話ではありません。イヤ、要するに、神さんではなくて、カカアのことを言っているのです。

犬帰ってものは趣味が同じだと何かと都合が良く、何となく、こうホノボノとした安心感ってマツがある。であるからして、かみさんが私と同じ趣味のコトに没頭している時は例え屁をヒッたところでユルセルんだな。その音さえもうたうがごとく快よく感じちやうんだ、コレが。

で、私とかみさんの共通の趣味として読書がある。何故読書が趣味かという本を詠むのが好きだからナリダ。この読書ってのが一丈したクセモノで、さっき言ったような何でもユルセル！って訳にはいかない。屁どころか、イギリスの首都がロンドンだってことさえ腹がたつから人間なんて、こり難しいワ。

ま、こういうこと聞いて下さいヨ。

かみさん、マッ昼間から読んでいるらしい。夜、家に帰って何時も私が座る場所に行くと、ウン家長たる者のお座りなさる場所があるワケ。そこに「男のポケットなんて本がころがっている。チクショウ男の研究なんか始めやがったなあとおもむろに着替えようと別の室に行く、と、どうだ、昨夜ヨッパラって脱ぎ捨てたスーツにネクタイ、ワイシャツがそのまま装飾的に散らかっている……。そう、そういうこと。亭主の服をさちんとたたむより、本の方が大切な仕事なのサ。アンタどう思う、こういうの？

一仕事終えてウイスキーをなめなめ11PMなんぞながめているとしよう。石炭が少なくなつて寒々としたストーブのかたわらで、かみさん、ハナクソほじくりながら「グウタラ社会学」なんてのにジックリとり組んでやがる。「オイ石炭くべろや」「ん？」「オイ、ウイスキー！」「ア？」米より細い芦吹しやがってこうだもんね。「ヨシ寝るぞ」「アラまだフトンしていないワ」もうこんな生活イヤ！ アンタどう思う？

まだあるんだよなアーこんなの。で、本の話なんかするとは何と言うと思う、「本読んでいる途中で仕事するのイヤなのよね」だって！まるで仕事しているみたいじゃーないか。その上こうだ「どんな本でもいいの読んでいれば」「なんと低俗、心酔する作家もないのか！」「ドイツブンガク？分らないもの」あたりまえじゃー、そんな高級なドイツのデンガクなんぞ食ったことないだろう。

お聖さん、夏樹静子、赤川次郎、かんべおさしなんぞをかたっぱしから読んで、芥川賞もんは文芸春秋ですまして、決してハードカバーの高い本など買ったためしが無い。

それで、この原稿「オイ読んで反省しな」と渡したら、「アラあなたと一緒にゃない」

ム、バカな、ソレな、マテヨ、そういえばそうなのだ。ハイ。でも小さい声で一言、男性諸君、本の好きな嫁さんもうう時は、読んでから仕事をするか、仕事をしてから本を読むか、ハッキリさせてもらってチョータイ。

(本学教養部助教授)

教養関係

新着案内

ニュースの商人ロイター 倉田 保雄著
新潮社 1979 070.19 Ka56

イギリスのこびばと知恵 P.ミルワート著
朝日新聞社 1978 159.8 M:29

ザパンナの博物誌 川田 順造著
新潮社 1979 294 Ka32

地域主義の時代 清成 忠男著 東洋経済
1979 332.91 K:88

傍観者の時代-わが20世紀の光と影- P.F.ドラッカー
著 ダイヤモンド社 1976 335.04 D92

ビックコレクター 瀬木 慎一著 新潮社
1979 709.3 Se16

橋爪先生
の
独語散歩

Gogaku
語“楽”
サロン
(4)

木津先生
の
仏語ア・ラ・カルト

+ DEUTSCH / FRANÇAIS +

Akademische Freiheit
アカデミシエ フライハイト
Numerus と Clausus
ヌメルス クラウス
【大学の自由と大学入学者制限】

Bonjour Monsieur!
ボンジュール ムシユール
Pardon Madame!
パルドン マダム
Merci Mademoiselle!
メルシ マドモワゼール

学生と試験は切っても切れない縁があるが、その最たるものは大学の入学試験であろう。原則として、ドイツの大学には入学試験はない。というと羨望の思い募るところがありますが、Gymnasium(いわば進学コースともいえる10~18歳までの9年制中・高等学校)のAbitur(卒業試験)が、即大学進学資格試験となっているわけです。(もちろんこのAbiturは厳しいもので不合格になったら途中で学校を去るものもいます。) そこでAbiturさえ合格すれば、自由にどこの大学でも学べるわけですが近年大学進学希望者の激増から、ほとんどの大学でNumerus claususという。成績による定員制限が行われているのが現状。例えば我が国同様、医学部(西ドイツでは総合大学は全て公立)には成績が良くなければ入れないし、たとえ成績優秀でも定員の関係から何学期か待たされたりすることもある。いわゆるakademische Freiheitといわれるように、本来的には、学生は自由に大学を選び、また途中で他大学へ移ることも出来るし、何年在籍しようとかまわれないことになっている。(かつては10年とか15年で卒業するという剛のものもいた。) W.v. Humboldtによって形を与えられたakademische Freiheitもこと学生のLernfreiheit(学が自由)に関しては大いに制限を受けるに至っているわけである。

ちなみにakademische Viertel(大学の15分一講義が定刻より15分遅れて始められること)というのがあり、こちらの方は我が大学でも敢然と守られて…… どうもいないらしい。(本学教養部助教授)

フランス人のようにpardon(ご免なさい)という言葉をよく使う国民もそれ程多くはあるまい。それは、隣人が何民族であるか分らず、徹底的に自己主張しなければ生きられないような社会での潤滑油として挨拶言葉が発達したからのものである。ところで、挨拶言葉の後には、必ずMonsieur, Madame等をつけるのもフランス人の習慣で、慣れない日本人の戸惑う点である。これらの言葉は、seigneur, sire(殿様) dame(奥方), demoiselle(お嬢様)の前に「私の」と意味するmon(男性形) ma(女性形)が附加され出来たもので、複数形であれば、男女差なくmesになる。従って「万場の紳士淑女諸君」は、「Mesdames, Mesdemoiselles et Messieurs」である。ところで、この衆のは、英語であれば「my」という所有代名詞であるが、フランス語では所有形容詞である点を注意していただきたい。フランス語の形容詞は、それと関係する名詞の性・数に一致させることが規則であって、代名詞と異なる点である。例えば、「彼の」「彼女の」はson(男性形) sa(女性形)、ses(男女の別なく複数形)であってson=(彼の) sa=(彼女の)ではないということである。即ちson pèreは(彼、或は彼女の父) sa mèreは、彼或は彼女の母で、後に来る名詞が男性か女性かによってsonになったりsaになったりするるのである。(本学教養部教授)

フランス語では
彼女の父も son père
(his father)



経済学関係

イラン革命と石油・日本 東洋経済編 (同編刊)
1979 226.3 To86

シヤパン アズ ナンバーワン - アメリカへの教訓 -
E.F. ヴォーゲル 著 TBSブリタニカ 1979 302.1 V86

新文化産業論 日下公人 著 東洋経済新報社
1978 304 Ku82

都市下の経済学 上下 W. Z. ハーシュ 著 マクウ
ヒル 好学社 1979 318.7 H55

経済学批判 6 - 資本主義と国家 - 社会
評論社 1979 P330.5 Ke29

現代の経済理論 B. ハンセン 著 好学社
1972 331.01 H29

経済学史 - 講座 - 3 ~ 5 3: マルクス経済学の
生成と確立 4: マルクス経済学の発展 5: 歴史次
経済学と近代経済学 同文館 1979
331.2 Ke29

プログラム学習によるサムエルソンの経済学入
門 E. フォスター 著 学研 1974 331.39 F41

社会資本論 宮本 憲一 著 改訂版 有斐閣
1976 331.48 M:77

日本の経済成長 - 20世紀における成蹊加速 -
大川一司 H. ロソフスキー 著 東洋経済 1973 332.1
O46

現代日本経済論 - 世界経済の変貌と日本 - 吉島
勝 著 東洋経済新報社 1977 332.1 Y92

経済政策論 津田 隆 著 新版 杉山書店
1975 333.01 Ts 34

両大戦間の日本資本主義 安藤 良雄 編
東大出版会 1979 333.91 A47

経営者の時代 上下 A.D. チャンドラー Jr. 著 東洋
経済新報社 1979 335.02 C33

日本の経営発展 J. ヒルシュマイヤー 由井 常彦
著 東洋経済新報社 1977 335.02 H75

日本経営学五十年 - 回顧と展望 - 山本安次郎
著 東洋経済新報社 1977 335.12 Y31

社会的責任と企業構造 対木 隆英 社 千倉
書房 1979 335.15 Ts 39

企業形態論 大島 国雄 著 同文館 1976
335.3 O77

財務管理 西沢 脩 著 泉文堂 1979
335.96 N87

経営戦略実践法 W.E. ロスチャイルド 著 ダイ
モンド社 1979 335.9 R74

経営財務論 - 株式会社金融と企業の投資理論 -
高橋 昭三 著 森山書店 1979 335.96 Ta33

貨幣金融論 岡安 仁美 編 著 法学書院
1973 337.1 O47

金利政策の百年 R.G. ホートレー 著 東洋経済
新報社 1977 338.233 H45

社会思想史 水田 洋 著 有斐閣 1968
363.02 M:97

農業協同組合の研究 足野 進三郎 著 北大
図書刊行会 1976 611.6 A93

実践商業学 武市 春男 横田 弘之 著 新版
1978 670.1 Ta58

最新商品の科学 国勢社編集部 編 著 (編所)
1973 674.1 K052

利潤計算原理 岩田 巖 著 同文館 1966
679.01 I97

価格変動会計論 森田 哲彌 著 国元書房
1979 679.01 M066

最新原価計算講義 溝口 一雄 著 中央
経済社 1979 679.7 M:93

税務会計入門 長谷川 忠一 著 第11訂版
同文館 1979 679.8 H36

法律学関係

フランス病 A.ペイルフィット著 実業之日本社
1978 312.35 P48

一般国家学 G.エリネク著 学陽書房 1974
313 J35

都市政策論集3-コミュニティ行政の理論と
実践 勁草書房 1979 318.7 T672

現代外交政策論 花井 等著 ミネルヴァ
1975 319 H27

国際政治-季刊-63:現代の安全保障-
有斐閣 1979 319.05 Ko51

要説法律学 林迪広 徳本 鎮 水汲朗
編著 九州大学出版会 1979 321.01 H48

現代法学講義 磯村 哲編 有斐閣 1978
321.01 I85

法学概論 野原 重隆著 北樹出版 1979
321.01 N93

法学・憲法 大渡 正治著 錦正社 1979
321.01 O93

法社会学入門 及川 伸著 新版 法律
文化社 1978 321.4 O32

イギリス法研究 伊藤 正己著 東大出版会
1978 322.93 I89

不動産取引法の研究 半田 正夫著 勁草書房
1980 324.2 H29

判例不法行為法 前田 達明著 青林書院
新社 1978 324.55 Ma26

不動産登記の基礎 林良平 石田 喜久夫
編 青林書院新社 1976 324.86 H48

手形・小切手法 酒巻 俊雄編 同文館
1979 325.61 Sa32

刑法総論 宮沢 浩一 大谷 実編 青林
書院新社 1976 326.1 Mi89

刑法各論 河井 信太郎著 法学書院 1979
326.2 Ka93

刑法各論 中山 研一 宮沢 浩一 大谷 実編
青林書院新社 1977 326.2 N45

刑事政策 石原 明[等]著 青林書院新社
1975 326.3 I74

刑事学概論 前田 信二郎著 増訂 法律
文化社 1977 326.3 Ma27

現行舊式全書 法制研究会編 金園社
1977 327.03 H91

民事訴訟論集2-民事訴訟におけるローマ法
理とゲルマン法理-中村 英郎著 成文堂 1977 327.2 N37

民事訴訟法読本 小田 久蔵 雨宮 真也著
高文堂 1979 327.2 O17

民事訴訟法 高瀬 暢彦著 第2版 週刊
住宅新聞社 1977 327.2 Ta53

弁論主義 伊東 乾著 学陽書房 1975
327.22 I89

逐条概説 民事執行法 浦野 雄幸著
商事法務研究会 1979 327.3 U84

刑事訴訟法を学ぶ 松尾 浩也 鈴木 茂嗣
編 有斐閣 1977 327.6 Ma85

略解 民事訴訟法-判決手続篇- 三宅 正雄
著 昌山房 1978 327.6 Mi76

刑事訴訟の基本構造-訴訟対象論序説-
鈴木 茂嗣著 成文堂 1979 327.6 Su96

国際条約集 横田 喜三郎 高野 雄一編
第4版 有斐閣 1977 329.9 Y78

労働法事典 沼田 稻次郎[等]編 労働
旬報社 1979 366.03 R59

資料労働法 沼田 稻次郎編 労働旬報
社 1979 366.1 N99

活字と盲信



坂上 孝幸

隣室の同僚が、毎朝読み終えた朝日新聞を私の研究室のドアポストに入れておいてくれるので、合間をみて読んでいるうちに、最近二つの記事が目にとまった。

一つは、“ひと、本に会う”のコラムで、石川喬司氏が文中で紹介した「スター・ジョンの法則」である。これはアメリカのSF作家T.スター・ジョンが発見したもので、「SF作品の九割はクズである。さらにすべてのものの九割はクズである。」というものである。このあたりの解説のあと、氏は、“ひと、本に会う”より“ひと、本人に会うことが最上”と結んでいる。

二つめは、その数日後の読書紹介欄の、ルリアン・アライズ編「ホワイトヘッドの対話」についてである。20世紀を代表する哲学者の一人であるホワイトヘッドの思想・概念について解説したものであるが、そのなかでくりかえし出てくるものは、いかなる真理も、“半分の真理”でしかないという説で、そこには無限の宇宙のまえに人間の無知を謙虚にみとめている。現代のソクラテス・プラトーン・ホワイトヘッドの哲学があるとしていることである。

泉は、私の専門分野である土質工学会の世界的権威A. キヤサグランドが「論文が印刷され

たからといって、そのまま信用してはいけない。印刷されたものの半分はウソが書いてある」と言った。彼の貫録にして初めていえることで、正に急所を突いた名言とか、いささかショックをぬぐい去れないままにきていた時だけに、他の分野でのこれらの発言は身近かな驚きでもあったわけである。

読書の功績や読書論など、一般に活字となったものへの賛辞や評価は、多くの人達によっていろいろな観点から語られている。本との出会いによって多くの刺激や感銘をうけ、ひいては人生において失墜からの脱出や飛躍へと結びついた例の多いことも事実である。

これらのことから、現実生きる者にとって、空の山ともいえる活字の世界から多くの恩恵をうけることができる一方において、いたずらに活字に振りまわされたり、活字を盲信することの非を反省させられる。

盲信とは、確認の不十分によるものであり、考察のどこかで、つなぎ目がつながっているか切れているかはっきりしないのに、つながっていると軽率に信じてしまうために生じることで、推定や仮定でつないだ関係はどこかの段階で立証する必要があるわけである。

また活字を業として世に送り出す立場の人には、より一層の謙虚さと慎重さが要求されるところでもある。(本学工学部教授)

工学関係

河川の開発と平野-東南アジアを中心として- 大矢
雅彦著 大明堂 1979 454.43 O94

風力エネルギー読本 本間 琢也編 オム社
1979 501.6 H85

土のはなし1~3 土質工学会編 土のはなし
編集グループ編 技報堂 1979 511.3 D88

青函トンネル土工研究調査報告書 土木学会
編(同編所) 1977 516.7 D81

河川水文学 高瀬 信忠著 森北出版
1978 517.1 T253

環境管理-その概念計画と技術- 木村 宏
編 コロナ社 1979 519.5 K339

建築の生と死 長谷川 亮著 新建楽社
1978 520.4 H36

建築ガイドブック-西日本編 新建楽編集
部編 新建楽社 1979 520.8 H64

建物の維持管理 飯塚 裕著 鹿島
出版会 1979 525.8 I28

住宅の造園技術 G.エフボ著 鹿島出版
会 1979 629 E19

Liberal Arts

Economics

Law

Engineering

洋書
案内

経済学
の
新着から

古典

Economics

現代



... スミス ...

Adam Smith and modern political economy; bicentennial essays on the Wealth of Nations, by Gerald P. O'Driscoll, Jr. 1979. (331.32 017)

... ミル ...

Mill: a collection of critical essays, ed. by J. B. Schneewind. 1969. (331.32 Sc5)

... リカード ...

On the principles of political economy and taxation, by David Ricardo. 1977, c1817. (331.32 R33)

... マルクス ...

Essai sur l'économie de Marx, par Joan Robinson. 1971. (331.34 R54)

... パレト ...

The economics of Vilfredo Pareto, by R. Cirillo. 1979. (331.39 C73)

... ウィクセル ...

Interest and prices; a study of the causes regulating the value of money, by Knut Wicksell. 1965, c1898. (331.35 W71)

... ガルブレイス ...

The Galbraith reader; from the works of John Kenneth Galbraith. 1979. (331.39 G17)

... マクロ ...

Macro economics; analysis and policy, by Lloyd G. Reynolds. 3rd ed. 1979. (331.39 R29)

Macroeconomics; the measurement, analysis and control of aggregate economic activity, by Thomas F. Dernburg, et al. 5th ed. 1976. (331.39 D63)

The economics of modern Britain; an introduction to macroeconomics, by John Black. 1979. (332.33 B52)

... ミクロ ...

Microeconomic analysis of issues in business, government and society, by Roger Beck. 1978. (331.39 B31)

Leçons de théorie microéconomique, par Edmond Malinvaud. 1979. (331.39 Ma39)

... イセのトピック ...

Game theory and political science, ed. by Peter C. Ordeshook. 1978. (331.19 071)

Current issues in fiscal policy, ed. by S. T. Cook and P. M. Jackson. 1979. (343 C87)

World economic development; 1979 and beyond, by Herman Kahn. 1979. (333.6 Ka19)

University
Casebook
Series

カード・ボックス

Bibliothèque
de
la Pléiade

-アメリカ-

アメリカ Foundation出版社から出されている人門シリーズ。判例を中心に法学各分野にわたり収められている。

-フランス-

「Pléiade プレイヤード」とはフランス語で古代ギリシャの七賢人を意味する。仏・ガリマル社の哲学・文学・思想家を中心とする古典シリーズ

新着
辞典案内

レファレンス・コーナー

教養関係

兄弟外菜語辞典	柏書房	813.7 A94
中国地名辞典(全)	台北 維新書房	292.2 C62
読解読書指導事典	第一法規	019.2 D83
英和仏和混合辞典	大修書林	833.1 E39
表記・文法指導事典	第一法規	375.8 H99
子どもの本の事典	第一法規	019.5 K621
古筆大辞典	淡交社	728.1 K627
空海辞典	東京堂	188.5 K427
日蓮辞典	東京堂	188.9 N71
日本仏教史辞典	東京堂	180.21 N77
ラテン・アメリカ事典 1979	ラテン協力協会	255 L35
図説歴史散歩事典	山川出版	210.03 Z8
石油備蓄ハンドブック	日本工業新聞	568 Se44
精神薄弱教育学級経営事典	第一法規	378.6 Se19
視聴覚教育研究ハンドブック	第一法規	375.19 Sh24
心身障害児教育・福祉・医療総合事典	第一法規	378.03 Sh69
新数学事典	大阪書籍	410.3 Sh62

書写・書道用語辞典	第一法規	728.03 Sh96
用字用語新表記辞典	第一法規	811.56 Y73

経済学関係

和英・英和経営経理辞典	中央経済社	335.03 W13
会計小辞典 改訂版	同文館	679.03 K21
経済学大辞典 1	東洋経済	330.3 Ke29
年金用語辞典	東洋経済	364 N64
新管理会計事典	同文館	335.96 Sh62
和英用語対照税務会計用語辞典	財経詳報社	679.03 W13

法学関係

労働法小辞典	中央経済社	316.03 R59
--------	-------	------------

工学関係

土木機材事典	産業調査会	513.8 D81
建築機材事典	産業調査会	525.2 Ke41
最新建築英和辞典	日本ビジネスレポート	520.3 Sa22

? 質問 に 答えて ?

? Kさんの質問 *****

余暇について調べたいのですが...

①勤労者世帯における余暇消費支出の実態

②余暇時間

③余暇に対する意識および実態

以上の点について文献を紹介して下さい。

+++++

*** 回答

「日本統計要覧(350.1 N77)」でどのような統計資料があるか調べます。

①については

総理府統計局編「家計調査年報(365.4 So55)

経済企画庁調査局編「独身勤労者の消費生活(365.021 Ke29)

②③については

NHK文化研究所「国民生活時間調査」(365.5 N77)

「図説日本人の生活時間」(365.5 H77)

余暇開発センター「余暇ハンドブック」(365.7 Y74)

等があります。

その他の本学所蔵資料については、分類カード(365.7)と件名カード“余暇”を引いて下さい。

また余暇開発センターや日本交通公社等

余暇について調査研究を行っている機関が多くあります。詳しくは、日本能率協会編

「総合マーケティング資料年報」(675.05 So28)

で調べられます。直接各機関に問い合わせることもできます。

文献
ぶんげん

現代日本執筆者大辞典 全5巻 天野敬太郎監修 日外アソシエーツ刊 281 934
現在日本の人文科学・社会科学の分野で活字をつうじて活躍している約1万人が収録されている人物事典。氏名の読み・略歴・現住所・著作・年譜・目録等で構成されている。

レファレンス・コーナー

本学紀要案内

北海学園大学経済論集 27巻3号(通62)
昭55/1

- 論説
 社会主義競争の組織の理論と実際2 宮坂 純一
 研究ノート
 名目勘定独立説の一形態-本部
 26巻第2号および第3号の拙稿に言及の- 秋葉 国利
 社会主義企業像をもとめて 宮坂 純一
 資料
 人間にたいする予算の影響 昭52下 内田 昌利訳
 クリス・ア・ジリス著

新規寄贈雑誌

1. [清森大学・青森短期大学]学術研究会会報 2巻(昭54/4)-
2. [旭川大学]地域研究新報 1: 昭和53年度(昭54/4)-
3. 駒沢大学外国語部論集 9:(昭54/3)-
4. [三重短期大学]三重法経セミナー月報 1979.1(昭54/4)-
5. 武蔵工業大学土木工学科論文収録集 1(昭54/9)-
6. [山一証券経済研究所]証券月報 340(昭51/2)
多ク欠号あり



雑誌特集 昭55/2~3

教養関係

- 「芥川賞 82回発表森禮子」文芸春秋 昭55/3
- 「文体としての古典-伝統と創造-」国文学
-解釈と教材の研究- 学燈社 昭55/3
- 「中国の言語と料理」言語 昭55/3
- 「エネルギーと地域」地理 昭55/2
- 「80年代の石油危機-その構造、その行方-」
世界 昭55/3
- 「俳諧史の再検討」文学 昭55/3
- 「近代文学-出発の意味」国文学-解釈と鑑賞-
昭55/3
- 「記憶」数理科学 昭55/3
- 「名作の中のおんな101人」国文学-解釈と教材
の研究- 昭55/3
- 「体育スポーツ」月刊切抜き体育スポーツ 昭55/3
- 「吉本 隆明の解説」現代詩手帖 昭55/3
- 「ゆれる学歴社会」現代のイスタ 昭55/3

法律学関係

- 「暴走族の実態と処罰」法律のひろば 昭55/3
- 「文と財の保存と再生」ジュリスト 昭55/3/5
- 「現代社会とコミュニケーション政策」ジュリスト
昭55/3.1
- 「現代日本の人権状況」ジュリスト 昭55/2/1
- 「行政手続法制定の課題」判例時報 昭55/2
- 「医師-患者関係の新規点-イギリスにおける展開」
法律時報 昭55/2
- 「高齢化社会と労働問題」ジュリスト増刊
昭55/2
- 「日本の法学者-人と学問-」法学セミナー
昭55/3
- 「札幌・京都・静岡・大阪・群馬 各スモン
訴訟第一審判決」判例時報 昭55/2/5
- 「集合住宅-居住性と維持管理」日本労働
協会雑誌 昭55/1

経済学関係

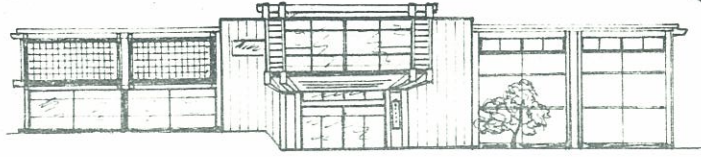
- 「体系別簿記論の全出題-解答-税理士試験」
会計人コース別冊 昭55/3
- 「福祉政策」の回顧と展望」社会保障研究
昭55/1
- 「企業年金制度の導入とその問題点」会計・シカド
昭55/2
- 「全国157銀行の最新情報」週刊東洋経済
昭55/2/15

工学関係

- 「アムステルダム建築史」SD 昭55/2
- 「都市・居住空間のデザイン」サイエンス別冊
昭55/3
- 「燃料用ガスとその配管」空気調和・衛生工学
昭55/3
- 「奪われる自然と環境」技術と人間 昭55/2

利用案内

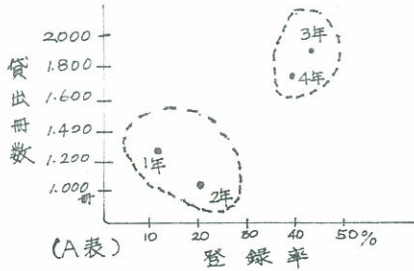
その 6



登録率・貸出冊数共にふえる

— 2年でほんと 3年から猛勉強 —

今年度2月末現在の登録率を出してみました。それによりますと全体で28%が登録していますので、三人に一人は登録し本を借りたことになります。学年が進むにつれて登録率が増大しますが、貸出冊数との相関(A表)をみますと、2年目でほんと息を返さる年目から猛勉強という傾向がみられるようです。



登録率 バスト*5

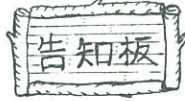
- ① 工学部 3年 57%
- ② 工学部 4年 52%
- ③ 法学部 3年 44%
- ④ 経済学部 4年 41%
- ⑤ 法学部 4年 38%

(B表)

登録率が増大すれば貸出冊数も増えることになります。去年の5500冊から今年は7000冊へと1500冊ほど伸びました。

開館時間

月～金 9:30～20:00
土 9:30～18:00



帯出証をつくろう

館外貸出には「帯出証」が必要です。学生証を提出するとすぐ作ってくれます。

昭和54年度学生購入希望図書

「備は希望図書コーナー」が設けられ多くの方々から図書の推せんをいただきました。今年度中に購入された図書の内訳は次のとおりです。

購入冊数 50冊
経済学関係 2冊 法学学関係 18冊 教養関係 1冊

卒業してからも図書館もお忘れなく

社会人として図書館の利用者となることをおすすめします。手続は、勤務先発行の身分証明書等を提示してくだされれば、従来通り閲覧・貸出を受けることができます。

編集後記

- * 卒業おめでとうございます。4年は長いようで短かったことと思います。これからは角度をかえて図書館をご利用下さい。
- ** 「だより」を企画して「第1歳」年6回12ページでの公約を果たしました。合計7500部は1人1部の配布です。
- *** 新年度からは、新旧スタッフおりにまして次の2歳をめざします。皆様の声援をそえてすくすく育つようがんばります。

図書館だより 第1巻第6号(通巻72)

昭和54年3月10日発行

北海学園大学附属図書館

062札幌市豊平区(旧)新町1番40号

Tel. 041-1161(代友)

夜間直通 841-1100)

工学部分室

04札幌市中央区南20条西11丁目

Tel. 501-2911